

鳥取県東部で開催される講演会・講習会等の主催者の方々へのお願い

平成 22 年 10 月 28 日

鳥取県東部医師会 学術委員会委員長 安陪隆明

平成 22 年度より日本医師会生涯教育制度が改定されました。

平成 22 年度からは、日本医師会生涯教育制度の単位(およびカリキュラムコード)の認定講演会・講習会等になるためには、事前に(約 2 ヶ月前には)鳥取県東部医師会を通じて鳥取県医師会へ単位およびカリキュラムコードの申請が必要となります。

平成 22 年度からの日本医師会生涯教育制度で講演会、研究会の主催者の方々が留意すべきことを以下に簡単にまとめました。お手数をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

(平成 22 年度からの日本医師会生涯教育制度の詳細については、

<http://www.med.or.jp/cme/about/jissi/index.html>

をご参照ください)

対象となる講演会・講習会・ワークショップ・学会等

鳥取県東部で開催される、以下の(1)、(2)のどちらにもあてはまらない講演会・講習会・ワークショップ・学会等が、日本医師会生涯教育制度の単位およびカリキュラムコードの認定を受けるためには、基本的に鳥取県東部医師会の後援を受ける必要があります。事前に(約 2 ヶ月前には)【生涯教育申請様式】に沿った申請書を東部医師会に提出する必要があります。また聴講者の【署名簿】を、講演会・講習会等が終わってから 1 週間以内に東部医師会に提出しなければなりません。尚、【生涯教育申請様式】【署名簿】、また東部医師会の後援依頼の参考様式については

<http://www.toubu.tottori.med.or.jp/syogaikyoku/index.htm>

よりダウンロードできます。

<申請書の必要のない講演会・講習会・ワークショップ・学会等>

(1) 日本医学会総会、及び、日本医学会加盟学会の都道府県単位以上の主催によるもの

(日本医学会加盟学会については、【資料 1】を参照)

(2) 鳥取県医師会または鳥取県東部医師会の主催または共催によるもの

上記の(1)、(2)のどちらにもあてはまらない講演会・講習会・ワークショップ・学会等については、原則的に事前に(約 2 ヶ月前には)東部医師会への後援依頼、及び申請書を東部医師会に提出して鳥取県医師会の承認を受けなければ、日本医師会生涯教育制度の単位およびカリキュラムコードの認定講演会・講習会等になれませんのでご注意ください。

講習会後の事後申請について

生涯教育制度の単位とカリキュラムコードの申請は、講演会・講習会開催の2ヶ月前の申請が原則となりますが、症例検討会のように事前に内容が決定できないものについては、講習会終了後の事後申請が認められます。

この場合、講演会・講習会開催の約2ヶ月前には予め【生涯教育申請様式】の中の「申請内訳」の項目から「事後申請希望」に○をつけて東部医師会に提出する必要があります。（この際には単位とカリキュラムコードの欄は空白で結構です）。なお、この場合、案内状には単位やカリキュラムコードを書くことができないため、案内状には「日本医師会教育制度に基づく単位とカリキュラムコードを〇〇会終了後に申請予定」とのみご記載ください。

（「〇〇会」の中には、「症例検討会」、「講習会」、その他実際の会の名前などが入ります。）

講習会開催日より1週間以内に【生涯教育申請様式】に沿った申請書と【署名簿】を東部医師会にご提出ください。この際には【生涯教育申請様式】の中の「申請内訳」の項目から「事後申請」に○をつけ、また単位とカリキュラムコードの記入もお願いいたします。

単位の設定

講義時間1時間あたり1単位となります。最小単位は、30分で0.5単位です。

ただし、一開催あたり1日の上限は5単位までとなります（例えば2日間で計16時間の講習会でも、一日5単位まで×2日間で10単位までとなります）

なお、製品紹介などの時間は講義時間に含みませんので、差し引いて申請して下さい。

カリキュラムコード(略称:CC)の設定

【資料2】の84カリキュラムコードの中から、その講演会・講習会等の内容に沿ったカリキュラムコードを付与します。1つのカリキュラムコードの付与は最短30分(0.5単位)で、カリキュラムコードの上限は単位数の2倍までとなります。例えば、1時間・1単位の講演会の場合、2つまでのカリキュラムコードの付与ができます。

また、演者、講師を務める場合も単位の扱いは同じとし、カリキュラムコードについては、単位数の2倍の範囲内で、カリキュラムコード・2の付与も可能とします。

（カリキュラムコードの付与例については、【資料3】を参照）

案内状への記載

案内状には、

「日本医師会生涯教育制度 ○単位 カリキュラムコード ●●, ●●」

と記載ください。尚、この記載がされた案内状を配布できるのは、鳥取県医師会での承認を受けてからとなりますのでご注意ください。

また案内状には講演会・講習会の開催時間だけでなく、閉会時間も記載ください。

署名簿

日本医師会生涯教育制度の単位およびカリキュラムコードの認定を受けられた講演会・講習会等は、聴講された方の署名簿(またはそのコピー)を、講演会・講習会等が終わってから1週間以内に東部医師会へご提出ください。

参加証が必要な方については、後日、「日本医師会生涯教育制度の参加証」を郵送しないとイケないため、「勤務先」と「名前」だけでなく「住所」の記載もしていただけるようお願いいたします。またご本人には、後日「日本医師会生涯教育制度の参加証」を郵送させていただく旨をお伝えください。

尚、この参加証はあくまで「日本医師会生涯教育制度の参加証」ですので、主催者として独自に参加証を出す必要がある場合には、それを主催者の権限で発行していただいてもまったくかまいません。

遅刻、早退された聴講者の方を署名簿に加えるかどうかについては、主催者の方が常識的な範囲でご対応ください。

平成 年 月 日

鳥取県医師会会長 様

「各種医会・団体学会市町村支部 講演会・講習会等の代表者（医師会員）」

印

日本医師会生涯教育制度における単位及びカリキュラムコードについて（申請）

今般、下記講習会を企画いたしましたので、日本医師会生涯教育制度における単位及びカリキュラムコードについて申請いたします。

記

申請内訳 ○印	*事前申請		*事後申請希望（終了後）⇒		*事後申請	
講習会等名称						
主 催						
地区医師会後援の有無	有		無			
開催日時	平成 年 月 日（ ）	時 分～	平成 年 月 日（ ）	時 分まで		
会場・開催地	「 _____ 」（ _____ ）市町					
参加資格	（ _____ ）医師であれば誰でも参加可（ _____ ）制限あり					
参加予定者数	約 _____ 名 うち、医師の出席は 1/2以上 or 1/2以下					
参加費	無料 ・ 有料（ _____ 円）					
*プログラム	別紙参照	懇親会の有無		有	無	
当該講習会等における単位（30分につき0.5単位、1日上限5単位まで） _____単位						
カリキュラムコード（略称；CC）（単位数の倍まで） （ _____ ）（ _____ ）（ _____ ）（ _____ ）（ _____ ） （ _____ ）（ _____ ）（ _____ ）（ _____ ）（ _____ ）						
[連絡先]						
所属： _____						
事務担当者： _____						
住 所： 〒 _____						
電話番号			FAX番号			
メールアドレス _____						
備考： _____						

*「事後申請希望」の場合は、終了後改めて「cc」を記入の上「事後申請」としてご提出下さい。

【記入例】

平成 22 年 7 月 1 日

鳥取県医師会長 様

「各種医会・団体学会市町村支部 講演会・講習会等の代表者（医師会員）」

鳥取 太郎

印

日本医師会生涯教育制度における単位及びカリキュラムコードについて（申請）

今般、下記講習会を企画いたしましたので、日本医師会生涯教育制度における単位及びカリキュラムコードについて申請いたします。

記

申請内訳 ○印	<input checked="" type="radio"/> *事前申請	<input type="radio"/> *事後申請希望	(終了後)⇒	<input type="radio"/> *事後申請
講習会等名称	COPD - 中高年のせき、たん、息切れの治療 -			
主催	× 研究会・ 製薬株式会社			
地区医師会後援の有無	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無		
開催日時	平成 22 年 11 月 1 日 (月) 19 時 00 分～ 平成 22 年 11 月 1 日 (月) 20 時 30 分まで			
会場・開催地	「 ホテル の間 」 (鳥取) <input checked="" type="radio"/> 市			
参加資格	<input checked="" type="checkbox"/> 医師であれば誰でも参加可 () 制限あり			
参加予定者数	約 50 名 うち、医師の出席は <input checked="" type="radio"/> 1/2以上 or 1/2以下			
参加費	<input checked="" type="radio"/> 無料 ・ 有料 () 円			
*プログラム	別紙参照	懇親会の有無	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
当該講習会等における単位（30分につき0.5単位、1日上限5単位まで） 1.5 単位				
カリキュラムコード（略称；CC）（単位数の倍まで） (11) (45) (46) () () () () () () ()				
[連絡先]	製薬株式会社			
所属：				
事務担当者：	日本 次郎			
住所：	〒 680-XXXX 鳥取県鳥取市 町XX-XX			
電話番号	0857-XX-XXXX	FAX番号	0857-XX-XXXX	
メールアドレス	jirou_nihon@_seiyaku.co.jp			
備考：				

*「事後申請希望」の場合は、終了後改めて「cc」を記入の上「事後申請」としてご提出下さい。

■日本医学会分科会（108学会）

日本アレルギー学会	日本公衆衛生学会	日本超音波医学会
日本医学教育学会	日本交通医学会	日本透析医学会
日本医学放射線学会	日本呼吸器学会	日本糖尿病学会
日本医史学会	日本呼吸器外科学会	日本動脈硬化学会
日本移植学会	日本呼吸器内視鏡学会	日本東洋医学会
日本医真菌学会	日本細菌学会	日本内科学会
日本医療機器学会	日本産科婦人科学会	日本内視鏡外科学会
日本医療情報学会	日本産業衛生学会	日本内分泌学会
日本医療・病院管理学会	日本耳鼻咽喉科学会	日本乳癌学会
日本ウイルス学会	日本周産期・新生児医学会	日本熱帯医学会
日本衛生学会	日本集中治療医学会	日本脳神経外科学会
日本衛生動物学会	日本循環器学会	日本脳卒中学会
日本栄養・食糧学会	日本消化器外科学会	日本農村医学会
日本疫学会	日本消化器内視鏡学会	日本ハンセン病学会
日本温泉気候物理医学会	日本消化器病学会	日本泌尿器科学会
日本解剖学会	日本小児科学会	日本皮膚科学会
日本化学療法学会	日本小児外科学会	日本肥満学会
日本核医学会	日本小児神経学会	日本病理学会
日本眼科学会	日本職業・災害医学会	日本平滑筋学会
日本癌学会	日本自律神経学会	日本法医学会
日本感染症学会	日本神経学会	日本保険医学会
日本肝臓学会	日本神経病理学会	日本麻酔科学会
日本癌治療学会	日本人工臓器学会	日本脈管学会
日本気管食道科学会	日本心身医学会	日本民族衛生学会
日本寄生虫学会	日本腎臓学会	日本免疫学会
日本救急医学会	日本心臓血管外科学会	日本薬理学会
日本矯正医学会	日本人類遺伝学会	日本輸血・細胞治療学会
日本胸部外科学会	日本生化学会	日本リウマチ学会
日本形成外科学会	日本整形外科学会	日本リハビリテーション医学会
日本外科学会	日本生殖医学会	日本臨床検査医学会
日本血液学会	日本精神神経学会	日本臨床細胞学会
日本結核病学会	日本生体医工学会	日本臨床腫瘍学会
日本血管外科学会	日本生理学会	日本臨床薬理学会
日本血栓止血学会	日本先天異常学会	日本リンパ網内系学会
日本口腔科学会	日本大腸肛門病学会	日本レーザー医学会
日本高血圧学会	日本体力医学会	日本老年医学会

日本医師会生涯教育カリキュラム＜2016＞
カリキュラムコード(略称:CC)

1 医師のプロフェッショナリズム	43 動悸
2 医療倫理:臨床倫理	44 心肺停止
3 医療倫理:研究倫理と生命倫理	45 呼吸困難
4 医師-患者関係とコミュニケーション	46 咳・痰
5 心理社会的アプローチ	47 誤嚥
6 医療制度と法律	48 誤飲
7 医療の質と安全	49 嚥下困難
8 感染対策	50 吐血・下血
9 医療情報	51 嘔気・嘔吐
10 チーム医療	52 胸やけ
11 予防と保健	53 腹痛
12 地域医療	54 便通異常(下痢・便秘)
13 医療と介護および福祉の連携	55 肛門・会陰部痛
14 災害医療	56 熱傷
15 臨床問題解決のプロセス	57 外傷
16 ショック	58 褥瘡
17 急性中毒	59 背部痛
18 全身倦怠感	60 腰痛
19 身体機能の低下	61 関節痛
20 不眠	62 歩行障害
21 食欲不振	63 四肢のしびれ
22 体重減少・るい瘦	64 肉眼的血尿
23 体重増加・肥満	65 排尿障害(尿失禁・排尿困難)
24 浮腫	66 乏尿・尿閉
25 リンパ節腫脹	67 多尿
26 発疹	68 精神科領域の救急
27 黄疸	69 不安
28 発熱	70 気分の障害(うつ)
29 認知能の障害	71 流・早産および満期産
30 頭痛	72 成長・発達の障害
31 めまい	73 慢性疾患・複合疾患の管理
32 意識障害	74 高血圧症
33 失神	75 脂質異常症
34 言語障害	76 糖尿病
35 けいれん発作	77 骨粗鬆症
36 視力障害・視野狭窄	78 脳血管障害後遺症
37 目の充血	79 気管支喘息
38 聴覚障害	80 在宅医療
39 鼻漏・鼻閉	81 終末期のケア
40 鼻出血	82 生活習慣
41 嘔声	83 相補・代替医療(漢方医療を含む)
42 胸痛	0 その他

＜カリキュラムコード付与例＞

講演会テーマ	時間	単位数	CC例
インフルエンザ	2時間	2	11：予防活動 13：地域医療 18：全身倦怠感 28：発熱 42：胸痛 45：呼吸困難 46：咳・痰 61：関節痛 などの中から4コードまで
C型肝炎	90分	1.5	11：予防活動 12：保健活動 18：全身倦怠感 27：黄疸 73：慢性疾患・複合疾患の管理 などの中から3コードまで
先端医療	2時間	2	1：専門職としての使命感 3：公平・公正な医療 4：医療倫理 7：医療制度と法律 8：医療の質と安全 などの中から4コードまで
メタボリックシンドローム	90分	1.5	11：予防活動 12：保健活動 23：体重増加・肥満 73：慢性疾患・複合疾患の管理 74：高血圧症 75：脂質異常症 76：糖尿病 82：生活習慣 などの中から3コードまで

高血圧症	90分	1. 5	11：予防活動 12：保健活動 23：体重増加・肥満 73：慢性疾患・複合疾患の管理 74：高血圧症 82：生活習慣 などの中から3コードまで
脳ドック	60分	1	11：予防活動 12：保健活動 30：頭痛 31：めまい 32：意識障害 78：脳血管障害後遺症 などの中から2コードまで
新しい抗菌薬の使い方	90分	1. 5	15：臨床問題解決のプロセス 25：リンパ節腫脹 26：発疹 28：発熱 46：咳・痰 72：成長・発達の障害 などの中から3コードまで